

琉球の風@淡路人形座

「この地球に生まれて」
ほし

人形浄瑠璃普及発展のための
入場無料カンパ公演

2019年6月16日(日) 淡路人形座

南あわじ市福良甲1528-1地先

19時開演 18時30分開場 入場無料(カンパをお願いします)



木偶舎は春と秋にツアーを企画し、人形浄瑠璃の発展・普及のため、また、平和・反核などのメッセージを人形演劇を通して各地に届ける活動を行っています。今回は番外編として古謝美佐子さんと淡路島と徳島での平和を願うツアーを企画しました。琉球から届く風に平和への祈りを感じてもらえたらと思います。
木偶舎 勘緑 拝

【主催】木偶舎 【協力】淡路人形座

【問い合わせ】淡路人形座 0799-52-0260

木偶舎 06-6581-2939

awajiningyoza.com

木偶舎 Facebook

古謝美佐子 Koja misako

1954年沖縄県嘉手納町生まれ。沖縄民謡女性歌手。9才でレコードデビュー。86年より坂本龍一のユニットに参加し録音からワールドツアーまで参加する。90年より女性民謡4人グループ「ネーネーズ」にリーダーとして参加。「黄金の花」などのヒット曲を発表。1995年末に脱退後、ネーネーズのサウンドプロデューサー、佐原一哉と共にソロ活動を開始する。アルバム「天架ける橋」(2001)、「廻る命」(2008)は高く評価され、また、自作詞の子守歌「童神」(わらびがみ)は、夏川りみ、山本潤子、ヘイリー他、日本～世界の多くの歌手にカバーされ愛される。ステージでの活動は、ソロ公演の他、文楽人形や琉球舞踊、エイサーからフラなどの多種多彩なコラボ公演と、モンゴル800のCDに参加するなど若手のミュージシャンとの交流も多い。

3歳の時に父親を米軍基地内の事故で亡くすも、現在まで嘉手納基地の近くに住み、歌を通して平和の尊さや戦争の悲惨さを訴えて続けている。また「古謝の声には高周波とゆらぎ成分を同時に持ち、人を癒したり健康促進の効果がある」と言う内容の分析結果が科学者や大学教授より発表され話題となる。

2014年からは、初代ネーネーズの宮里奈美子、比屋根幸乃に島袋恵美子が加わった4人グループ「うないぐみ」の活動を始め、2015年1月に1stアルバム「うない島」を発表。2015年10月には、坂本龍一のコラボチャリティシングル「弥勒世界報-undercooled」を発表。また女優としても、2016年の短編映画「born, bone, 骨音」、2019年の長編映画「洗骨」(いずれもガレッジセールのカンニング・ヒトシ監督作品)に出演している。



佐原一哉 Sahara Kazuya

1958年福岡県門司市生まれ。同志社大学卒業。音楽プロデューサー、キーボード奏者、作詞作曲編曲家。主に沖縄の民謡や関西の音頭など日本の伝統的大衆音楽をプロデュースする。『ネーネーズ』を経て現在は『古謝美佐子』及び『うないぐみ』の総合プロデューサー。作曲家として、夏川りみ森進一、都はるみ、三波春夫、中尾彬等に曲を提供する。代表作「童神」は2003年度日本レコード大賞金賞を受賞。その他、コンサートの企画構成演出、文楽人形と古謝のコラボ作品「吉屋チルー物語」の脚本、映画「鬼に訊け～宮大工 西岡常一の遺言」「洗骨」の音楽、NHK「名曲アルバム」の編曲を手がけるなど、多岐に活躍する。



勘緑 Kanroku

浄瑠璃人形遣い 元(財)文楽協会技芸員、人形座「木偶舎」主宰

1979年二世桐竹勘十郎(人間国宝・故人)に入門

人形浄瑠璃の普及・発展と文楽人形の新しい可能性を求めて、2012年1月33年間在籍した文楽座を辞しフリーの人形遣いとなる。主宰する「木偶舎」では、各地で自然との融合や他ジャンルの音楽・演劇との接点を求めた文楽人形の可能性を追求し、劇場の枠を越えた独自の野外劇場を企画・演出している。

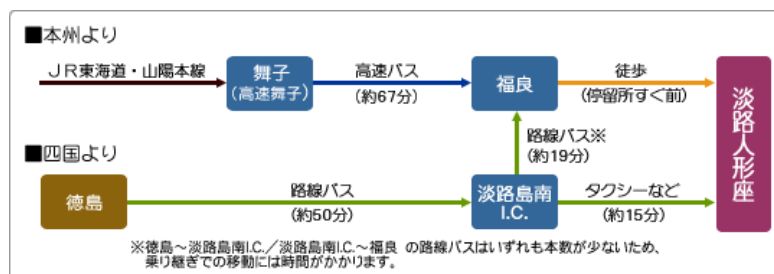


淡路人形座へのアクセス

【お車をご利用の場合】



【電車・バスをご利用の場合】



【カーナビをご利用の際のご注意】

カーナビをご利用の際、淡路人形座の電話番号で検索すると移転前の住所(大鳴門橋記念館)で案内されます。

電話番号での検索をご利用の場合は、淡路人形座隣にございます「ジョイポート南淡路株式会社」様のお電話番号をご入力ください。ご不明な点がございましたら、淡路人形座までお問い合わせください。

【ナビ検索の電話番号】

0799-52-0054

(うずしおクルーズ ジョイポート南淡路株式会社様)
※この番号はナビ検索用の電話番号です。

【お問い合わせ】

TEL 0799-52-0260

淡路人形座

兵庫県南あわじ市福良甲1528-1地先